

事業所向け 放課後等デイサービス自己評価結果（公表）

公表：令和2年3月31日

事業所名：ココトこども教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			・5名体制を取り、どの空間にも目が行き届くように心がけております。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・利用時等に、どの空間は何をする場所なのかをご説明するなど、設備、空間等に関しては理解を促していると思います。しかし、バリアフリーについては配慮できていない点もあり、導入等は次年度以降の検討課題となります。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・業務内容全体では行っておらず、限定されたものになっているため、業務をチームで行い、定期的なチームミーティングを実施し参ります。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・評価は実施しましたが、全保護者に配布出来ておらず、全体の把握には至らなかったため、次年度は出来るだけ全体への配布ができるよう、心掛けていきたいです。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・掲示板で公開しておりましたが、ホームページでの公表は出来ていなかったため、早急に対応して参ります。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・第三者評価は実施していないため、今後検討していきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・各職員の得意な分野をテーマに内部研修を実施しています。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・アセスメントの観点で行動観察をし、ニーズを把握した上で、支援計画を作成しております。しかし、アセスメントツールを活用している訳ではなく、関係機関で実施した各種心理検査を保護者に提出していただき、参考にしつつ支援計画を作成しています。
適切な 支援の 提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	・アセスメントツールの使用に関しては、今後検討して参ります。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・児童の状態によっては、固定された方が安心して活動できる場合もあるため、状況に応じて対応をして参ります。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		・上記同様、児童の状態によっては、固定された方が安心して活動できる場合もあるため、状況に応じて対応をして参ります。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・「個別活動」と「集団活動」、それぞれに支援計画を作成している訳ではないが、支援計画の中で必要に応じて設定しております。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			

⑩	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	
⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			

⑫	定期的にもonitoringを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・支援終了後に、概ね保護者の方にフィードバックを実施しており、その都度ニーズの確認および見直しを行っております。
⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか			○	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	⑮	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか			○	・直接的に、学校との情報共有は行っておりませんが、各区市町村の就学相談等には情報提供をしています。保護者の方のニーズに応じて実施できるように準備をしています。
	⑯	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	—	—	—
	⑰	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	・直接的に、所属していた園との情報共有は行っておりませんが、各区市町村の就学相談等には情報提供をしています。保護者の方のニーズに応じて実施できるように準備をしています。
	⑱	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	—	—	—	—
	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	・保護者の方のニーズや連携の機会がなかったため実施していません。必要に応じて行っております。
	⑳	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	・設定できていないため、必要性等も含め今後の検討課題とします。
	㉑	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	・今まで、数回しかありませんが、出来るだけ参加し、情報共有ができるように努めます。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・支援終了後に、概ね保護者の方にフィードバックを実施しており、家庭での状態や支援時の状態を共有しています。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・支援終了後のフィードバック時に対応等の相談支援を実施しています。また個別面談も併用して実施しています。 ・プログラムとして設定していませんが、要素を含んでいる対応のことが多いため、それらのご説明も含めてフィードバック等を徹底して参ります。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時等に説明を行っています。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・家族支援プログラム同様、支援終了後のフィードバック時に対応等の支援を実施しています。また個別面談も併用して行っています。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・保護者会等は実施できていないため、必要性も踏まえて、実施の検討をしています。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・今まで苦情等はほとんどありませんが、あった場合は全体への周知および適切な対応を心掛けて参ります。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	・会報の準備はしてはおりますが、発行の手続きには至っていないため、次年度以降検討して参ります。また、HPでの情報の発信等心掛けていきたいと思っております。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・地域との関わりを企画できていないため、検討して参ります。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・マニュアルは作成しているが、保護者への周知に関しては課題が残るため、次年度以降、検討して参ります。 ・避難訓練等は、計画通り実施できました。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	—	—	—	—
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・契約時に、アレルギー等への対応も保護者の方と相談をして実施しています。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	・ヒヤリハット事例が少ないこともあり、作成しておりませんが、小さなことでも作成して共有を図って参ります。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表（公表）

公表：令和 元年 10月 27日 事業所名 ココトこども教室 保護者等数 77名 回収数 22名 割合 28%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	4	1	・広めの自由空間を保っているのが好ましく感じる
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	20	1	1	・先生方はたくさんいる ・レベルがまちまち
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	9	2	・教室の出入り口が狭い
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	18	3	1	・作成通りの活動になっていない
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	19	1	1	・やっていることは同じことの繰り返しのような気がする ・祝日や長期休みのイベントを楽しみにしている
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	13	9	・交流の必要性は感じない
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19	3	0	・契約のときに受けた
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	20	1	1	・毎回説明してくれるので助かっている ・学校での問題や担任の先生への伝え方など、アドバイスをもらい助かっている
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19	2	1	・毎回のフィードバックとは別に話をする機会がほしい
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	1	21	・必要性を感じない ・情報共有の場があってもいいと思う
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18	3	1	・特に苦情はない ・申し入れをすると面談の機会を設けてくれる
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20	1	1	・毎回終了後にその日の様子を聞かせてもらっている
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	3	10	9	・HP はあまりみていない ・HP を見られない ・HP の更新はほとんどされていない ・ほとんど発信されていない
	⑭	個人情報に十分注意しているか	20	2	0	
非常時	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	0	17	5	・説明を受けていない ・存在するようだが、周知や説明はとても弱い

等 の 対 応	⑬	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	5	3	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練をしっかりしていた 避難用具はあるが、訓練をしているかは分からない 広域避難所まで行ってみたりなど、工夫されていた 	
	満 足 度	⑭	子どもは通所を楽しみにしているか	21	1	0	<ul style="list-style-type: none"> 毎回楽しみにしている
		⑮	事業所の支援に満足しているか	19	3	0	<ul style="list-style-type: none"> 満足している 専門職がいらっしゃるので安心している 信頼している より本質に近い状態で活動している 親のケアもしてもらい、とても満足している

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。